

(様式1)

# 平成17年度 事務事業評価表

記入年月日	平成17年4月27日		記入者		内線	3332
部名	土木部	課名	下水道整備課	課長名	石川 正次	
事務事業名	公共下水道整備国庫補助事業(市街化調整区域分)					
予算上の事務事業名	下水道整備課調整区域分					
1 総合計画における位置づけ	施策コード		32,610			
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして					
政策名	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます					
基本施策名	第6節 下水道の整備と管理					事業開始年度
施策名	第1施策 汚水対策の推進					平成13年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等						
下水道法第3条(管理) 公共下水道の設置、改築、修繕、維持その他の管理は、市町村が行うものとする。						
3 個別計画の概要			概要			
計画名	市街化調整区域の公共下水道(汚水)整備国庫補助事業		市街化調整区域内 整備予定面積:約330ha 人口:13,400人 総事業費:約95億円 世帯:3,700世帯			
計画年次	平成13	年度~	平成20	年度		
4 事業形態の区分 建築・整備・重要物品購入 ▼						
5 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)					(2) 対象(誰、何)	
公共用水域の水質保全、生活環境の改善及び公衆衛生の向上を図るため、市街化調整区域内の生活排水対策の一環として市街化調整区域の公共下水道(汚水)整備事業のうち、国庫補助対象となる下水道を整備するもの。					整備予定面積79.9ha	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
公共下水道上溝南系統整備工事(第1工区) 1件 整備面積5.2ha 60,696,300円						
6 関連・類似事業や他市の状況						
公共下水道整備国庫補助事業(市街化区域分)						
7 事業費の推移 [単位:千円]						
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業費	203,046	563,322	60,697	792,800	792,800	
一般財源	40,446	75,272	9,997	33,200	33,200	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	162,600	488,050	50,700	759,600	759,600	
人件費の合計	839	3,204	807	4,842	4,842	
事業コスト合計(a)	203,885	566,526	61,504	797,642	797,642	
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)						
主たる事業名	公共下水道整備国庫補助事業(市街化調整区域分)			対象名称(単位)	工事件数(件)	
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	203,046	563,322	60,697	792,800	792,800	
対象数	3	7	1	10	10	
単位あたり経費(円)	67,682,000	80,474,571	60,697,000	79,280,000	79,280,000	
前年度比		1.19	0.75	1.31	1.00	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	指標式と指 標の説明				
工事完了件数（件）	工事完了件数	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
実績		3	7	1	
目標		3	7	1	10.0
目標達成度		1.00	1.00	1.00	
平成18年度(目標)					10.0
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	指標式と指 標の説明				
汚水整備率（%）	汚水整備済面積/汚水整備対象予定面積×100 汚水整備された面積率（%）	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
実績		7.9	13.7	5.2	
目標		7.9	13.7	5.2	31.1
目標達成度		100.0	100.0	100.0	
平成18年度(目標)					31.1
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	{	良好な状態を維持する事業			
	{	概ね良好な状況である事業			
	{	見直しを行う必要がある事業			
	{	抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		・限りある財政の中で早期整備は難しい状況にあるが、平成16年度からは国庫補助対象区域の見直しにより、大幅な特財（国庫）の投入が図られた。当整備により、相模川を始めとする公共用水域の水質保全、生活環境の改善及び公衆衛生の向上は確実に図られている。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
・公共下水道の早期整備。 ・供用開始された家屋における宅内排水設備の早期実施に向けた啓発活動。			事業実施に見合う特財（国庫補助金）の確保における担保性がない。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			